

2018年度年度の決算概要と 今後の経営戦略



クリエートメディック株式会社

2019年 2月15日(金)

代表取締役社長	佐藤 正浩
取締役専務執行役員 管理本部長	橋井 敦

国内市場

- 市場環境
 - ・ 高齢化社会 (症例数の増加)
- 国民医療費の増加
 - ・ 公定価格の改定
 - ・ 病院の共同購入
 - ・ 国内外メーカーの企業間競争



国内市場は
全般的に微増

海外市場

- 海外市場
 - ・ 先進国は緩やかに増加
 - ・ 東南アジア等人口増加、経済発展
 - ・ 低侵襲治療などの需要拡大



引き続き
需要拡大に期待

営業成績



(百万円)

	前期	計画	実績	前期比	計画比
売上高	10,393	10,656	10,796	+3.9%	+1.3%
営業利益	854	900	993	+16.4%	+10.4%
経常利益	880	930	999	+13.5%	+7.5%
当期純利益	467	631	672	+43.7%	+6.6%

■ 連結対象会社

- ・大連クリエート、クリエート国際貿易(大連)、九州クリエート、ベトナムクリエート、ベトナムクリエート国際貿易

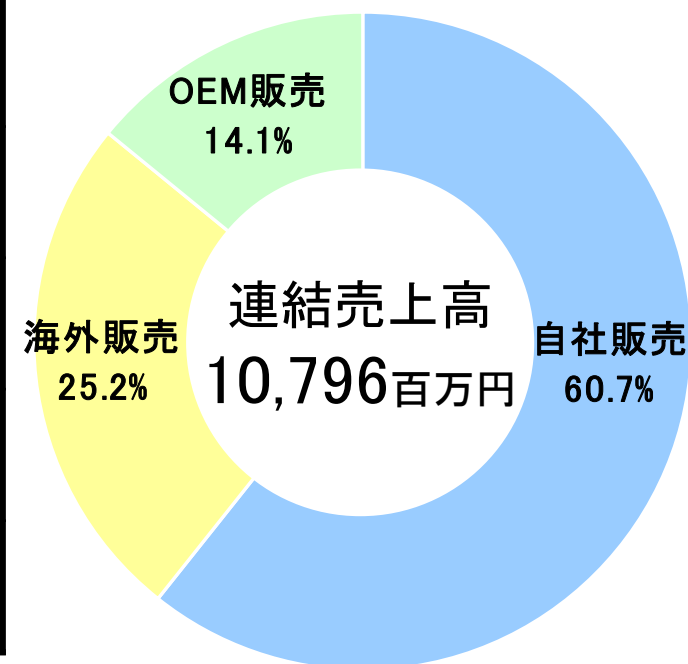
売上高



(百万円)

	前期	実績	前期比
自社販売	6,402	6,558	+2.4%
海外販売	2,414	2,715	+12.5%
OEM販売	1,576	1,522	△3.4%
合計	10,393	10,796	+3.9%

販売形態別 構成比



売上高 (販売形態別・製品系統別)



(百万円)

	自社販売	
		(前期比)
泌尿器系	2,656	(+7.2%)
消化器系	2,674	(△0.0%)
外科系	859	(△1.4%)
看護検査他	367	(△2.2%)
合計	6,558	(+2.4%)

海外販売 2,715百万円(+12.5%)

- 中国向け: 1,925百万円(+11.6%)
- 欧州他: 790百万円(+14.6%)

OEM販売 1,522百万円(△3.4%)

- ・血管系: 968百万円(△13.2%)
- ・看護検査: 442百万円(+21.5%)
- ・その他: 110百万円(+15.5%)

販売費・一般管理費



(百万円)

	前期	実績	前期比
人件費	2,580	2,555	△24
経費	1,487	1,494	+6
販管費	4,068	4,049	△18

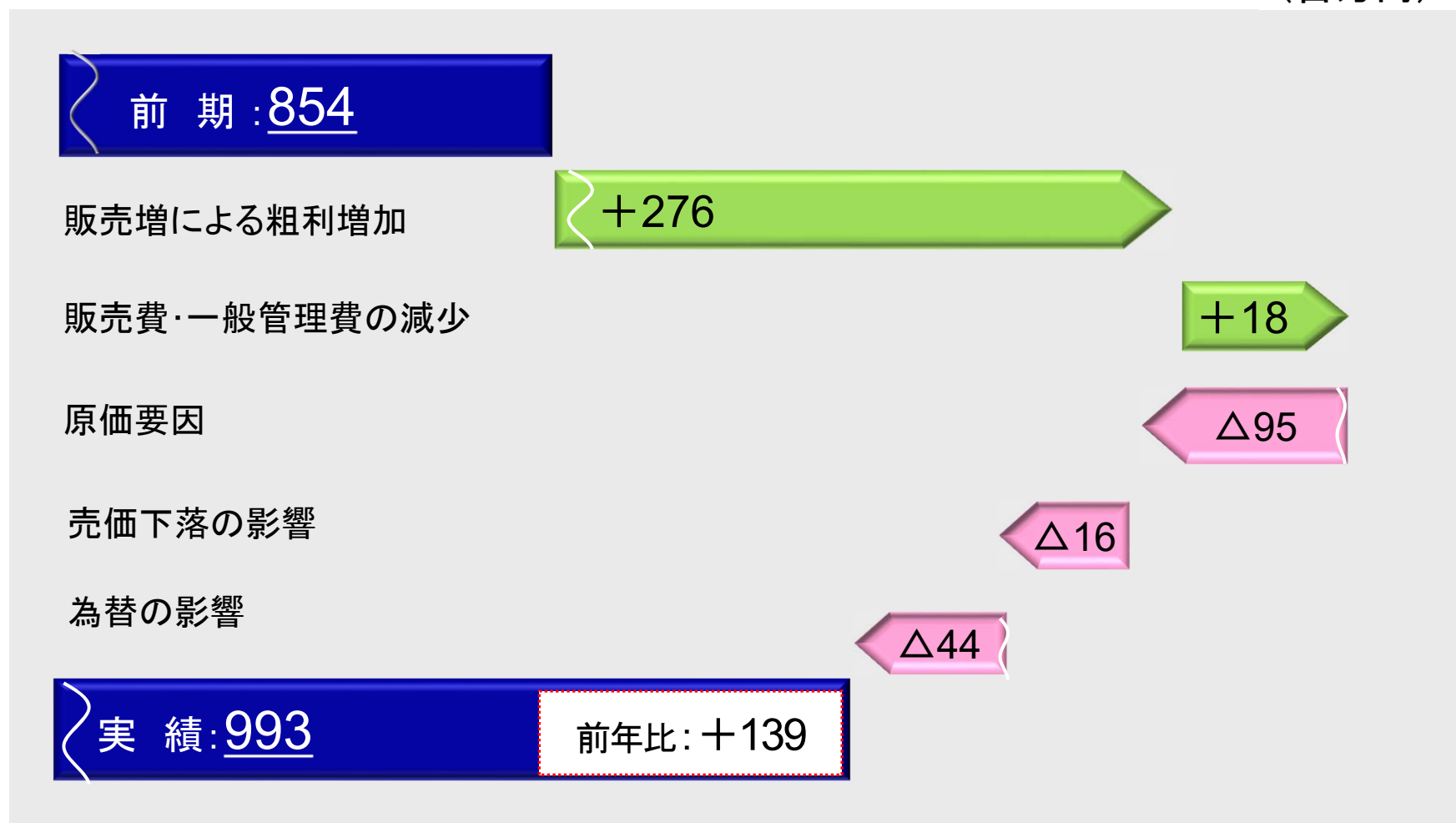
- 人件費
 - △ 販管部門の原価部門へのシフト
 - △ 海外子会社への出向社員減少
- 経費
 - + 研究費・物流費の増加
 - + 販売促進費(中国)の増加

営業利益



＜前期比の変動要因＞

(百万円)



經常利益・純利益



(百万円)

	前期	実績	前期比
売上高	10,393	10,796	+403
営業利益	854	993	+139
営業外収益	48	42	△5
営業外費用	21	36	+14
經常利益	880	999	+119
特別利益	0	0	0
特別損失	111	19	△91
法人税等	301	307	+6
当期純利益	467	672	+204

- > 営業外収益
 - ・受取利息配当金 △6M
- > 営業外費用
 - ・為替差損 19M
- > 特別損失
 - ・固定資産売却損 19M

設備投資・研究開発費



設備投資

設備投資：429百万円

(主な内容)

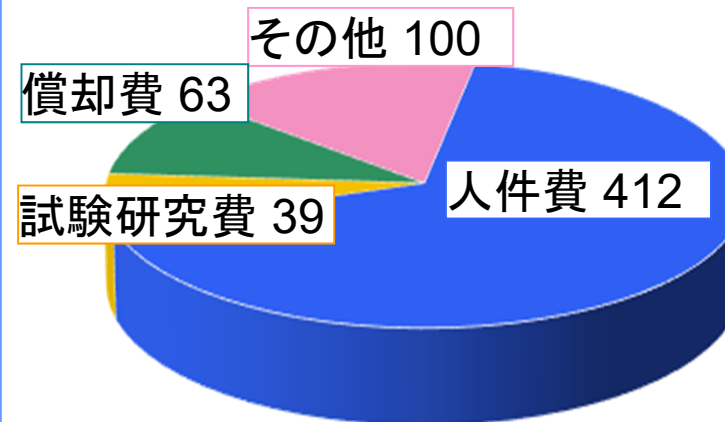
- ・大連工場の改修工事 319M
- ・生産・研究設備投資等 98M



研究開発費

研究開発費：616百万円

- ・国内開発強化(人件費の増加)



中期計画の進捗状況



自社販売

■ 自社販売

- ・泌尿器系製品の拡販は順調に進行
- ・新製品の上市時期ズレ込みにより若干の未達
- ・医療機関へのアプローチに注力

	中期計画 2019年	2019年 予想
売上高	10,888	10,930
営業利益	886	1,000
経常利益	900	1,010

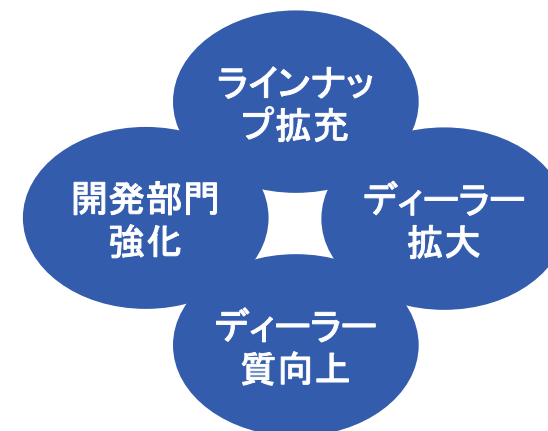
海外販売

■ 海外販売

- ・中国大都市圏から一般都市へ販路拡大
- ・製品ラインナップの拡充も予定通り進行

■ 生産拠点

- ・大連クリエート開発部門の強化も予定通り進行
- ・外注施策、自動化投資等も計画通り進行



OEM販売

■ OEM販売

- ・大手メーカーを含む新規案件の獲得に手ごたえあり

次期業績予想(2019/12)



(百万円)

	当期	次期予想	前期比	
売上高	10,796	10,930	+133	+1.2%
営業利益	993	1,000	+6	+0.6%
経常利益	999	1,010	+10	+1.0%
当期純利益	672	700	+27	+4.1%

[想定レート USD = 112円]

- 売上高 (+133M)
 - ・自社販売 + 163M
 - ・海外販売 + 154M
 - ・OEM販売 △ 185M

- 営業利益
 - ・研究開発投資、物流費増加
 - ・中国販売関連費用の増加
 - ・生産操業度上昇、原価低減

トピックス

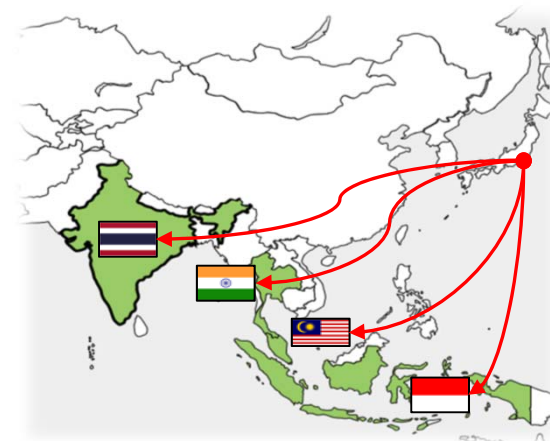


海外

- ・インド、インドネシア、タイ、マレーシアの市場調査
- ・著名医師へのアプローチ、ディーラー探索



マーケティング強化、新規開拓・拡販に注力



国内

- ・在宅販売に特化した部門を設置



市場ニーズにあった新製品の開発
販売ノウハウの蓄積に注力



配当政策



	第2四半期末 (円 銭)	期 末 (円 銭)	合 計 (円 銭)
'18/12期	16.00	21.00	37.00
'19/12期	17.00	20.00	37.00

【将来予測に関する注意事項】

当資料には業績予想並びにその他の将来予測が含まれておりますが、これらは現時点での見通しに基づくものであり、予期せぬ事象の発生若しくは経営環境の変化により実際の業績と異なる可能性があります。

2019年 2月15日